

今週の見頃写真

9月23日編集

○風景

秋雨前線の通過を境に、気温も夜間10度台に低下し、有峰も秋の気配を感じ始めました。夏の間有峰に移動してきていたアキアカネも9月20日以降、その雄姿を見かける機会が少なくなりました。



(有峰湖展望台より有峰湖・宝来島を展望 9/19 撮影)



(小口川線より有峰ダムと薬師岳を展望 9/19 撮影)



(小口川線と西岸線の分岐点より薬師岳を展望 9/19 撮影)

○荷揚げするヘリコプター

9月16日(水)、山小屋に荷揚げするヘリコプターが

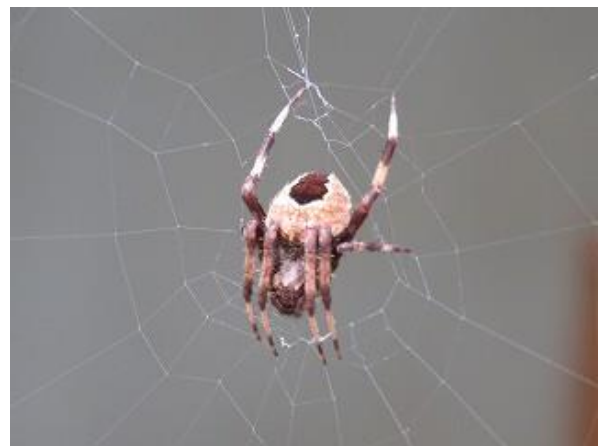
猪根平を往来していました。



(猪根平ビジターセンター前にて 9/16 撮影)

○オニグモ類 (コガネグモ科)

9月16日の夕方4時、ビジターセンター裏で網を張るオニグモ(種同定未定)の仲間を発見しました。張り終わると真中に静止しました。



(ビジターセンター裏にて 9/19 撮影)

○昆虫類

○キタキチョウ (シロチョウ科)

9月16日ハギに訪花し、吸蜜しているキタキチョウ♂を発見しました。有峰での幼虫の主な食草はハギ類と考えられています。



ハギで吸蜜中のキタキチョウ (9/16 撮影)

○ウラナミシジミ (シジミチョウ科)

9月16日ハギに訪花し、吸蜜しているウラナミシジミ♂を発見しました。有峰での幼虫の主な食草はハギ類と考えられます。シロツメクサにも訪花していました。



ハギで吸蜜中のウラナミシジミ (9/16 撮影)

○ベニシジミ (シジミチョウ科)

ベニシジミが猪根平自由広場 (芝生広場) のシロツメクサに訪花、吸蜜していました。周りには食草のギンギシやスイバが生えています。夏型のため、黒色鱗粉が発達しています。



(猪根平自由広場にて 9/19 撮影)

○モモノマダラメイガ (ツトガ科)

9月19日落下していたトチの実の食痕からモモノゴマダラメイガの幼虫が出てきました。周りには糞が沢山付いていました。中の実を食べつくしたのでしょうか? 終齢幼虫で越冬します。



(トチの実上で静止中のモモノマダラメイガ幼虫)

○アキグミ (グミ科)

猪根平でもアキグミが赤く熟し始めました。口に含んでみましたが渋みが残りました。果実酒に利用されます。



赤く色付き始めた秋グミ (9/16 猪根平にて撮影)

○ヤマブドウ (ブドウ科)

日本に野生するブドウの代表です。実が黒紫色に熟し始めていました。ニホンザルやツキノワグマの食料となります。口に含んでみましたがとても酸っぱかったです。



(冷夕谷遊歩道にて 9/19 撮影)

○あがりこ（トチノキの奇妙な樹形）

9月19日、行事下見のため、久々に冷夕谷遊歩道を散策しました。ミズナラにはほとんどドングリがついていませんでした。熊棚も発見できませんでした。積雪期に薪炭の材料として繰り返し伐採してきた奇妙な樹形、あがりこを撮影しました。冷夕谷のあがりこの大半はトチノキです。あがりこの下にはトチの実が落下していました。



（冷夕谷遊歩道にて9/19撮影）